

平成29年度計画重点項目

◆社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革

高等教育機関を取り巻く社会情勢の変化や、地域及び時代のニーズに的確に応えるため、各キャンパスにおいて大学改革を着実に推進する。松江・出雲キャンパスの新学部設置等の推進や、浜田キャンパス将来構想の実現に向けた取り組みを実施する。

- 松江・出雲キャンパスの新学部設置等について、認可や指定の手続き、必要となる施設整備など適切に対応する。(No.1-1)
- 浜田キャンパス将来構想の実現に向け、島根県との協議、調整を行う。(No.1-2)
- 第3期中期目標(期間：平成31年度～平成36年度)について、島根県の策定作業に参加、協力する。(No.1-3)

◆地域と協働した社会貢献の推進

島根県立大学憲章に謳う「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を実現するため、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業(大学COC(Center of community)事業)」や「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」を基軸として、地域と協働しながら社会貢献活動を推進していく。

- 「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」事業を推進する。「しまね地域マイスター制度」を着実に実施するべく、浜田・出雲キャンパスで調整し必要に応じて改善を進める。また、松江キャンパスでは、『履修証明プログラム』の2年コースの終了年度として、「社会人の学び」への貢献度を評価し、今後の方向性を取りまとめる。(No.46,54)
- 県内就職率向上に向け、島根大学、ジョブカフェしまね等と連携し、学生が県内企業を知る機会となるイベント開催に協力するとともに県内企業とのマッチングを促進する。浜田キャンパスでは、引き続きインターンシップ教育を重視し、学生参加の増加を図るとともに、事前教育の充実や受入機関からの講師招聘等により学びを深める取り組みを実施する。(No.9,10,36,54)

◆学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化

大学間競争がますます激化していくことを踏まえ、将来を見据えた学生募集活動に注力するとともに、本学の特色を打ち出していけるよう、教育内容やキャリア支援の更なる充実を図る。また、高大接続システム改革による新たな大学入学者選抜への対応について、着実に準備を進める。

- 各キャンパスにおいて、志願動向及び入学者の学力について分析を行う。また、県内高等学校の進路指導部教員を対象とした進路指導懇談会や高校訪問等を通じて意見交換を行い、県内高校生の志願動向に関する情報収集を行う。(No.2-1,3-1)
- 各キャンパスにおいて、授業公開や学外の意見聴取など、授業改善に向けた取り組みを行う。(No.27)
- 文部科学省より示される指針に基づき、国立大学協会・公立大学協会における議論の動向を注視しながら入学者選抜の見直し検討を始める。また、高大接続及び大学入学希望者学力評価テスト(仮称)の利用方法、大学入試制度改革等についての情報収集及び分析を行う。(No.2-3)
- キャリア支援プログラムについて、各キャンパスで検証を行い必要に応じ改善を加えて実施する。浜田キャンパスにおいては、公務員対策として「公僕学舎」の取り組みを継続実施する。(No.35)

◆国際交流、海外留学等の促進

島根県立大学憲章に謳う「北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学づくり」を実現するため、グローバル(グローカル)人材の育成に引き続き取り組む。

- 北東アジア地域研究センターでは、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構及び他の研究拠点機関と連携して「北東アジア地域研究推進事業」を着実に実施する。(No.50)
- 「異文化理解研修」、「異文化研修」、「海外語学研修」等の多様な海外短期研修プログラムを周知し、全キャンパスの学生がより多く参加するよう努める。(No.60,61,65)